

財団法人ソニー音楽芸術振興会

平成 21 年度 事業報告書

(2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日)

I. 方針

当財団の平成 21 年度事業は、過去 24 年間の実績を基に、積極的な活動を多角的に展開しました。

Ⅱ. 事業

1. 国際的フェスティバル、コンクール等の開催及び協力

(1) 「第9回 国際オーボエコンクール・軽井沢」の開催 【一般事業】

3年に1度開催の「国際オーボエコンクール」、前回の第8回から開催地を軽井沢大賀ホールに移して行われていますが、2009年、第9回を開催致しました。審査委員長には、元ベルリン・フィル首席で世界的なオーボエ奏者であるハンス・イエルク・シェレンベルガーを迎え、他にもモーリス・ブルグ、ゴードン・ハント、ノーベルト・トイブル、小畑善昭、霧生吉秀、古部賢一といった世界でもトップクラスの奏者が審査員として名を連ねました。

【開催日程と会場】

2009年6月2日(火)～4日(木) 予備審査(テープ審査、都内)

2009年10月10日(土)～18日(日)コンクール開催(軽井沢大賀ホール)

【結果概要】

応募者数：28の国と地域より125名が応募

第1次予選：上記125名のうち、予備審査を通過した46名が出場

第2次予選：上記46名のうち、第1次予選を通過した19名が出場

本選：上記19名のうち、第2次予選を通過した6名が出場

本選結果は以下の通り。

第1位【副賞：表彰状と表彰金各80万円】

PODYOMOV, Ivan (RUSSIA) イヴァン・ポディオモフ

WILMSEN, Viola (GERMANY) ヴィオラ・ヴィルムゼン

第2位【副賞：表彰状と表彰金70万円】

TONDRE, Philippe (FRANCE) フィリップ・トードゥル

第3位：該当者なし

入賞【副賞：表彰状と表彰金各10万円】

KONDO, Nanako (JAPAN) 近藤那々子

MEGE, Alexandre (FRANCE) アレクサンドル・メジェ

TAKASHIMA, Miki (JAPAN) 高島美紀

奨励賞【副賞：表彰状と2010年以降に演奏の機会と場所を提供する】
KONDO, Nanako (JAPAN) 近藤那々子

2. 音楽、オペラ、舞踊等の創造開発及び協力

(1) 子どもたちの感性を高めるプロジェクト

【1】子どもたちに贈るスペシャル・コンサートシリーズ～vol. 6

【公演事業】

2004年より始まった Sony Music Foundation スペシャル・コンサート・シリーズの第6回目を開催しました。これまでに NY フィル、ベルギー王立歌劇場（モネ劇場）、パリ・シャトレ座、イ・ムジチ合奏団、2008年はピアノ発明300年を記念して「THE PIANO」三部作、「ハーモニー」と題して作曲家メシアン生誕100年を記念しての「時の終わりのための四重奏曲」、「メロディー」のウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団、そして「リズム」のファジル・サイ（ピアニスト）と、世界に名だたる演奏団体・演奏家たちによる公演を開催してまいりました。

本年度は、フランス国立リヨン歌劇場音楽監督に就任したマエストロ、大野和士率いる同歌劇場来日公演に際し、リヨンで行われている教育プログラムの実施と、大野和士の解説を交えた公演を開催、教育プログラムと来日公演の様子はNHKの協力により特別番組として放映されました。

【日程及び会場】

教育プログラム：2009年8月13日（木）NHK スタジオ

2009年10月31日（土）江東区立東陽小学校 体育館

公演：2009年11月2日（月）東急文化村オーチャードホール

【2】「Concert for KIDS～0才からのクラシック®～」

「Concert for KIDS～3才からのクラシック®～」の開催

【公演事業】

「生まれた赤ちゃんにも生のクラシックを聴かせたい」、「ぜひ生まれた子供と一緒に聴けるコンサートに行きたい」というお客さまの声から1998年に誕生した、未就学児とその家族を対象としたクラシック・コンサートです。

毎年20回程度開催されており、ほぼ毎回完売する人気のシリーズとなりました。

た。出演者はピアノ、ピアノ・デュオ、ヴァイオリン、チェロ、トロンボーン、ハーモニカ、マリンバ、弦楽カルテットなど、企画主旨に賛同する多くの器楽奏者や室内楽アンサンブル、オーケストラのピックアップメンバー、オペラ歌手や童謡歌手など、場所や会場の規模に合わせ、さまざまな内容構成で開催しました。

【日程及び会場】 2009年～2010年

5月 2日 (土)	[東京都]	ホテルニューオータニ (2公演)
6月13日 (土)	[山形県]	伝国の杜
6月14日 (日)	[山形県]	山形テルサ
6月20日 (土)	[東京都]	サントリーホール 小ホール (2公演)
7月 5日 (日)	[北海道]	たかすメロディーホール
7月 8日 (水)	[東京都]	旧東京音楽学校奏楽堂
8月 2日 (日)	[神奈川県]	青葉台 フィリアホール (2公演)
9月 5日 (土)	[埼玉県]	朝霞市民会館
9月27日 (日)	[宮城県]	多賀城市民会館
11月8日 (日)	[新潟県]	黒崎市民会館ホール
11月9日 (月)	[新潟県]	新潟大学 大学会館
11月28日 (土)	[東京都]	なかのZERO 大ホール
12月26日 (土)	[千葉県]	ホテルニューオータニ幕張 (2公演)
3月 6日 (土)	[群馬県]	太田市藪塚本町文化ホール
3月20日 (土)	[東京都]	ティアラこうとう 小ホール
3月28日 (日)	[埼玉県]	和光市文化センター

上記計20公演を開催しました。

【3】「0才まえのコンサート®-ママのおなかは特等席-」の開催

【公演事業】

“人間の知能・情操は生まれるまえから育まれ得る”という前提のもとに、生の音楽演奏の場で、妊娠している母親が音楽体験することにより、深い感動と喜びがお腹のなかの赤ちゃんにも共感できるのではないか、という発想から企画されたユニークなコンサートです。1985年にスタート、現在までに150回以上、全国30カ所以上で開催しております。1995年から2003年まではピアニスト・岡崎ゆみが連続出演、以降は国内のトップアーティストを起用して開催しています。

ドイツを中心に活躍する天羽明恵(ソプラノ)、オペラ歌手として注目の高い林美智子(メゾ・ソプラノ)、東京都交響楽団首席奏者の古川展生(チェロ)、オーケストラとの共演やリサイタルなどで活躍している戸田弥生(ヴァイオリン)、邦楽界では次世代のトップとして活躍する藤原道山(尺八)と小宮瑞代

(箏)、国内外で活躍するハープ・デュオ、篠崎史子・篠崎和子など、幅広く、質の高い演奏家と楽曲で企画、2009年度も幅広い楽器で実力のある演奏家を迎えて開催しました。

このコンサートは、妊娠安定期（6カ月から9カ月）の妊婦さんのために、細心の注意を払った様々な工夫が凝らされています。奏者の出産・子育て経験談や作曲家にまつわるエピソードなど、リラックスできるトークを取り入れながら進行。またカップルや家族で外出しやすい土・日の午後に開催、そして専門家による分かりやすいお話など、好評を博しています。来場者の大半が、お腹の中の赤ちゃんとパパとママなのも大きな特徴です。

尚、近年は企業や自治体が主催する妊婦向けコンサートの企画制作を請け負うことも行っており、当財団が妊婦に向けたコンサートの老舗であることが社会的にも認知されていることは大きいと考えます。

【日程及び会場】 2009年～2010年

6月27日（土）[東京都]	HAKUJU HALL	戸田弥生（ヴァイオリン）
9月12日（土）[東京都]	HAKUJU HALL	澤畑恵美（ソプラノ）
3月20日（土）[東京都]	ティアラこうとう	向山佳絵子（チェロ）

【4】 Dream Seats

【公演事業】

Dream Seats は、NHK 交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団から年間10回の定期公演を各10席、小学校から高校生までの青少年とその保護者へ安価に販売し、子ども向けに作られた公演ではなく、大人と一緒に通常の音楽会を楽しんでもらうために提供している企画です。オーケストラ公演に加えて、器楽やオペラ公演などもその都度、条件に合った公演を案内し、さらには音楽や演奏家、作曲家についての豆知識を楽しく学べる「子ども音楽新聞」も発行しています。音楽や作曲家に興味を持ってもらい、演奏会に出かける日までのモチベーションを高めることと、興味を持続させることを目的としています。

Dream Seats は、2009年度は40公演を開催、また「子ども音楽新聞」は3回発行しました。

【5】 ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「キッズ・プログラム」への企画協力

【公演事業】

【日程及び会場】

2009年5月3日（日）～5日（火） 東京国際フォーラム及び周辺丸の内地区

2005年ゴールデンウィークに第1回がスタートし、クラシック音楽の祭典としては大きな規模で毎年恒例となった「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」。初年度はベートーヴェン、2006年は生誕250年を迎えるモーツァルト、2007年は「民族のハーモニー」、2008年は「シューベルトとウィーン」がテーマとなって開催、クラシック音楽界の大きな話題となった「ラ・フォル・ジュルネ～熱狂の日音楽祭」。入場者数も2007年には100万人を超える大きな音楽祭となっています。2009年は「バッハとヨーロッパ」をテーマに多くの作曲家へ多大な影響を与えたバッハの作品と影響を受けた作曲家の作品を特集して開催されました。2006年の公演より、音楽監督ルネ・マルタンの強い意向から子ども向けのコンサート、ワークショップを拡大することになり、協力要請がきたもので、2009年は内容、スケジュールともに例年以上に充実させ、キッズ・プログラムを企画しました。

(2) “Great Artist Series” の開催 【公演事業】

「第9回 国際オーボエコンクール・軽井沢」関連事業として、世界各国から集結するコンクール審査員らによるコンサートをコンクール開催期間中に軽井沢で1公演開催した他、2つの公演に協力した。

【日程及び会場】2009年

10月8日(木) 関西フィルハーモニー管弦楽団第215回定期演奏会

[大阪府] ザ・シンフォニーホール

【出演】オーボエ&指揮：ハンスイェルク・シェレンベルガー、モーリス・ブルグ、ハーブ：マルギット＝アナ・シュース、関西フィルハーモニー管弦楽団

10月17日(土) オーボエの新しい響き IV～THE OBOE-A New Approach IV

[長野県] 軽井沢大賀ホール

【出演】ハンスイェルク・シェレンベルガー、モーリス・ブルグ、ゴードン・ハント、ノーベルト・トイブル、小畑善昭、古部賢一、霧生吉秀 他

10月28日(水) モーリス・ブルグ オーボエ・リサイタル

[東京都] 紀尾井ホール

【出演】オーボエ：モーリス・ブルグ、ピアノ：野平一郎

3. 芸術家の研鑽に対する助成

(1) 第8回齋藤秀雄メモリアル基金賞

【特別事業】

2002年度（平成14年度）に創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」はチェリスト・指揮者・教育者として高名な故・齋藤秀雄（1902-1974）氏に因むものです。2000年3月17日に齋藤秀雄氏未亡人・齋藤秀子氏が90歳で逝去され、氏の遺言公正証書第参条に「財団法人ソニー音楽芸術振興会は、遺贈された財産で振興会の中に『齋藤秀雄メモリアル基金（仮称）』を設け、この基金により若手チェリスト、指揮者の発掘、育成を目的とした顕彰制度を実施して下さい。」と記載がありました。これは、その十数年前、同家の資産運用の相談を受けた当財団理事長・大賀典雄が同家の資産を買取った経緯があり、そのことに因ると思われます。

齋藤秀子氏の遺言執行者である中央三井信託銀行から当財団に、306,483,968円の遺贈金が寄せられました。

当財団理事会、評議員会で審議の上、齋藤秀子氏の生前の希望により、大賀が小澤征爾（指揮者）氏、堤剛（チェリスト）氏とも協議した結果、この遺贈金は「齋藤秀雄メモリアル基金」として運用、この基金の利息収入により「齋藤秀雄メモリアル基金賞」を授与することが決定しました。

2009年度の第8回 齋藤秀雄メモリアル基金賞 チェロ部門受賞者は、遠藤 真理（えんどう・まり）氏に決定いたしました。尚、指揮者については、今回該当者はありません。

当賞の内容は下記の通りです。

① 名称

「齋藤秀雄メモリアル基金賞」

② 選考対象

- ・ 音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される、若手チェリスト、指揮者。
- ・ チェリストと指揮者を各々1年に1人顕彰することを原則とする。但し、適切な該当者がいない場合は顕彰しない。

③ 選考方法

音楽関係者からの意見等を参考に、選考委員会で、選考委員が候補者を選出し、全員で選考の上、受賞者を決定する。

選考委員会は、顕彰年の上半期に開催することを原則とする。

④ 選考委員の選定

齋藤秀子氏が生前、大賀典雄に口頭で伝えた希望により、選考委員・選考委員長は下記の通りとする。

委員長：大賀 典雄

(指揮者・ソニー株式会社相談役・財団法人ソニー音楽芸術振興会理事長)

委員：小澤 征爾 氏 (指揮者)

堤 剛 氏 (チェリスト)

(注) 選考委員に欠員が生じた場合には、財団法人ソニー音楽芸術振興会の理事会・評議員会に於いて、後任を定める。

⑤ 賞

・楯

・賞金 総額 1,000 万円 (1 人 500 万円)

⑥ 受賞者発表時期、方法

顕彰時期を考慮して、当該年毎に適切な発表時期を定める。

受賞者はマスコミに公表し、当財団ホームページでも公表する。

⑦ 顕彰時期

当該年毎に適切な時期を定める。

⑧ 主 催：財団法人ソニー音楽芸術振興会 (Sony Music Foundation)

特別協力：財団法人サイトウ・キネン財団

サイトウ・キネン・フェスティバル松本実行委員会

(2) フェロウシップ・プログラム

【公演事業】

今年度は「軽井沢八月祭」と組み、彼らが主催する「マラソン・コンサート」の日に、これまで財団の活動に関与してくれた若手演奏家に「軽井沢大賀ホール」、軽井沢近郊の様々な場での演奏の機会を与えました。

4. 音楽、オペラ、舞踊等に関する講習会等の開催

(1) セミナーの開催

【一般事業】

諸事情 (アーティストの来日キャンセル) により、今年度は開催できませんでした。

5. その他、目的を達成するために必要な事業

(1) 「MIKIMOTO 日本赤十字社 献血チャリティー・コンサート」の開催

【公演事業】

毎年2回開催している本コンサート・シリーズは、2009年度は名古屋、東京で行いました。コンサートによって得た収益金は日本赤十字社へ寄付され、献血のための血液を運搬する血液運搬車の購入・整備資金へと充てられるものです。いつでも、どこでも、誰にでも必要なだけの血液が滞り無く届けられるよう、日々の運搬車の整備には細心の注意が払われていますが、現時点では十分な数の運搬車が確保出来ているとはいえない状況です。本コンサートでは、寄付活動を通じて、一般の方が、より献血に対する意識を高めるための広報活動の一端も担っています。

【第40回】名古屋公演

サー・ジェームズ・ゴールウェイ（フルート）ジニー・ゴールウェイ（フルート）
2009年10月10日（土） 午後7時開演
会場：三井住友海上しらかわホール
主催：Sony Music Foundation/三井住友海上しらかわホール
後援：厚生労働省/日本赤十字社
協賛：ミキモトグループ【株式会社ミキモト/株式会社御木本真珠島/御木本製菓株式会社】/三井住友海上/三井住友海上きらめき生命
協力：村松楽器販売株式会社

【第41回】東京公演

ニューイヤール・コンサート
2010年1月12日（火） 午後7時開演
会場：サントリーホール
ソリスト：清水和音（ピアノ）魚谷絵奈（ピアノ）加藤えりな（ヴァイオリン）
演奏：小松長生（指揮）/東京都交響楽団
主催：Sony Music Foundation
共催：東京都交響楽団
後援：厚生労働省/日本赤十字社
協賛：ミキモトグループ【株式会社ミキモト/株式会社御木本真珠島/御木本製菓株式会社】

（以上）